



たかばち山

令和5年10月27日
10月号
奄美市立東城小・中学校

校訓[自ら学ぶ] ○進んであいさつ(誠実) ○進んで仕事(勤労) ○自ら鍛える頭と体(好学・健康) 学校創立147周年

『周りのサポート・声かけ』

校長 永井 孝典

本校児童生徒の実態調査の結果をみると、「委員会活動や係活動の自分の仕事はみんなの役に立てていると思う』『学校行事において、計画や準備をやり遂げたとき「よく頑張ったなあ」「よくやったなあ」と思うことがある』の項目はほぼ全員がそう感じています。反面、「自分には自分なりの良いところがあると思う」「他人から好かれていての方だと思う」の項目では児童生徒の半分しかそう感じていませんでした。二学期は陸上記録会や音楽発表会・学習発表会等の学校行事が続くので、行事と共に自己肯定感は高まっていくと思われませんが、根本のところでは自分のことが好きなのかは怪しく自信がないと感じているのかもしれません。

自己肯定感とは、ありのままの自分を肯定できる感覚のことです。周りと比べてではなく、自分の存在に価値があると認め尊重できる感覚のことです。これは、将来に向けてより良い人生を歩むための根本的な力だと言えます。「人と比べない自分のフィールドで勝負する」ということは大人でもなかなか出来ず悩むことの連続です。今まで評価されることの中で育ってきたからかもしれません。

では、どうすれば子どもの自己肯定感が高まるのかと言うと、子ども自身を認めるという受容的な態度で接することと、どんな些細なことでもいいので褒める、認める言葉かけをすることです。たとえば何か作業をやらせたとき「前よりうまくできているね」「ここを工夫したね」など小さな変化や成長を見つけて声をかけます。本人たちにも「今日は自分からこう動いてみた」「ここを工夫した」というポイントもあるはずです。そこを見逃さず「ここをがんばったんだね」と伝えることです。

思春期を迎え自分についていろいろ考え始める頃になると「自分が嫌だ」「友達の誰々はすごい、それに比べて自分はできない」と落ちこんだりします。13歳頃からの不安や動揺も感じやすい時期に、幼少期には高かった自己肯定感が低下してしまうのです。親はしっかり見守り、必要に応じてサポートして欲しいところです。子どもの日頃からの様子をしっかりと観察して、声をかけるべき時には時機を逸さず声をかけることが大切です。

お待ちしております。県民週間

11月1日(水)～7日(火)は、地域が育む「かごしまの教育」県民週間です。この機会に、保護者、地域の皆様には、いつでも学校での子供たちの様子を見に来ていただきたいと思います。地域や家庭とは少し違った姿が見られると思います。

1日(水)は、小学校の読書祭りがあります。

また、11日(土)は学習発表会があります。

皆様のご来場を楽しみにしております。



昨年の県民週間の様子



勉強も頑張ってます

10月5日(木)、6日(金)は、中学校の中間テストが行われました。1年生は、2回目の定期テスト。3年生は、公立高校の募集定員も発表され、いよいよ受験に向けて本格的に進路を見据えた学習の期間となりました。

小・中学生でレクリエーション

第二土曜日は、小・中学生全員で、「8時20分だよ、全員集合」の合同でのレクリエーションがあります。今回は、中学生が司会をし「カモン」というゲームをしました。



HELLO! 英語スピーチコンテスト

校内英語スピーチコンテストが行われました。今年は、5、6年生もスピーチにチャレンジしました。みんな、身振り手振りを加え、英語で自己紹介や自分の夢などをスピーチしました。

表情豊かで、堂々とした発表でした。



11月の行事予定

- 11月1日(水) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間(～7日)
読書まつり 学校評議員会
- 11日(土) 学習発表会
家庭教育学級(寄せ植え 13:30～)
- 14日(火) いい歯につこり東城週間(～20日)
- 17日(金) 小3・4年社会科見学
中学校 進路説明会
- 20日(月) 中学校実力テスト(～22日)
- 22日(水) 小1・2年集合学習
- 27日(月) 中:期末テスト(～29日)
- 30日(木) 授業参観・学級PTA(中3以外)
家庭教育学級(人権教育)

毎月第3日曜日は、市民清掃の日です。
進んで清掃に参加しましょう。
(交通のきまりを守る。危険な所に近づかない。)

学校の様子は、HPの「トピックス」でご覧になれます。

